

在室者の健康・快適・知的生産性を実現する 建築室内環境の設計手法に関する研究



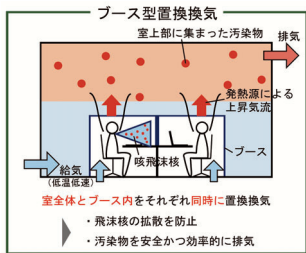
キーワード 高効率換気、感染防止、自然エネルギー利用、空気質 (IAQ)、室内気流

山中 俊夫 YAMANAKA Toshio

地球総合工学専攻 教授

建築・都市デザイン学講座 建築・都市環境工学領域 山中研究室

ここがポイント！【研究内容】



人にとって、最も身近で重要な環境は、「空気」です。空気の温湿度、空気中に含まれる汚染物質、においなど、室内空気の質 IAQ (Indoor Air Quality) は在室者の健康と快適性、さらには知的生産性に大きな影響を及ぼします。快適で清浄な室内空気の維持は人々の健康と幸福にとって不可欠なものであり、空気環境のデザインは建築にとって極めて重要です。人にとってどのような空気が望ましいか？ 効率がよく快適な環境を作る換気方法は？ エネルギー削減に貢献する換気方式は？ 様々な問いに答えるべく、研究を進めています。

応用分野	建築設備設計、建築環境デザイン、におい・香り環境設計
論文・解説等	[1] 床吹き出し空調システムの換気性能に関する研究, 空気調和・衛生工学会論文集, 2006 [2] 見る・使う・学ぶ 新世代の環境建築システム, 技報堂出版, 2016 [3] 特許第4962731号, 換気塔利用式自然換気システム及びこの自然換気システム用の導風装置, 2012
連絡先 URL	http://www.arch.eng.osaka-u.ac.jp/~labo4/

